

## 後期第 2 回

# あなたの蘇生術が家族を救う！

## 救急と Bystander CPR と実演

平成 3 1 年 2 月 1 7 日 (日)

講師：佐野厚生総合病院 副院長 わたなべ しんたろう 渡辺 慎太郎 氏

佐野総合厚生病院では、佐野市の救急医療の 6～7 割を担っています。重症の受け入れ率が高く、心肺停止状態の方が年間 60 例前後搬送されています。発見者が極力早く心臓マッサージを開始することがとても重要になり、予後の改善につながります。実際に自分で心臓マッサージ方法、AED（自動除細動器）の使用方法をそれぞれの参加者が体験することが出来ました。今日からこの学びを生かし、実施していきたいと参加者の方が話されていました。



### ○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・友達に誘われて、初めは難しいと思っていたが、実際に AED をやらせてもらい良かったです。
- ・本日のような講義は、頭に入れるだけでなく実践となる体力も関係するようなので、日頃から健康、体力を付ける運動の必要性をいやというほど思い知らされました。心臓マッサージや人工呼吸等、一刻を争う大事なこと、肝に銘じて練習したいと思います。本日は有意義なお話を有難く拝聴いたしました。
- ・発見者心肺蘇生術の重要性をととても感じました。蘇生が必要な時はできるように何回も復習して人のために役立ちたい。